

一般部規定課題

締切り 6月24日(必着)

準初段から六段まで

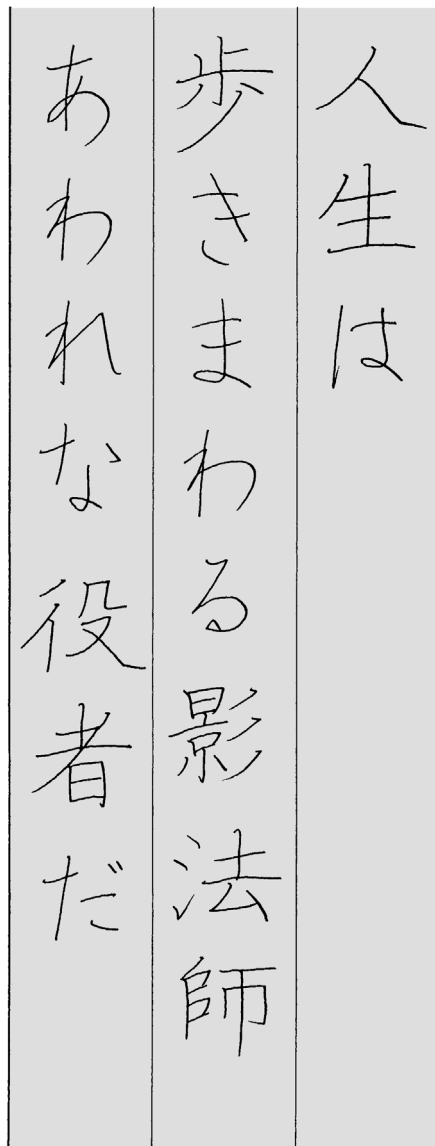
新入から1級まで

〔解説〕



書の上達には、練習時間を作ることが大切です。誰もが暇がない。せめて二、三日に一回は理想であるが、一週間に一回以下では不十分。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

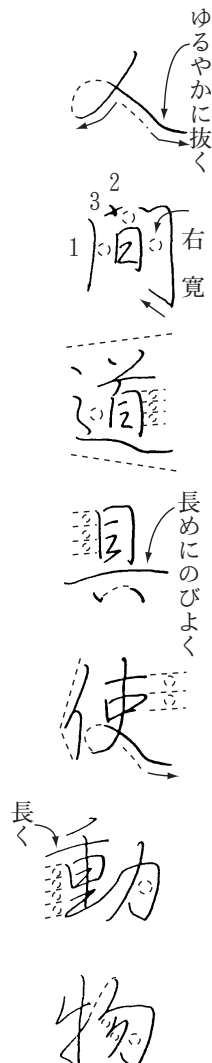


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

▼教範・書範＝楷書
▼師範＝行草または草書

◆7月課題予告（行書）
勇気ある人は
自分自身のこと
一番最後に考える

★人生は…（書体＝楷書）
シェークスピア（二五四～二六六）
四大悲劇『マクベス』より
夫人が死んだとの知らせを聞き、マクベスが人生というものを俯瞰しているセリフです。
人生を「つかの間の灯」ととらえ、影（役者）は一見華やかであっても、出番が終われば忘れ去られてしまう。人生のはかなさを嘆いています。

◆7月課題予告（楷書）
真っ直ぐな
道を行く者は
疲れない

★人間は…（書体＝行書）
カーライル（二七五～二八二）
イギリスの評論家・歴史家
人間は単純なものから複雑なものへと道具を発達させ、ついに大規模で知的な機械を発明し物質文明をつくりあげてきました。
この課題文のあとに「道具がなければ人間は無である。道具があれば彼はすべてである」と続きます。

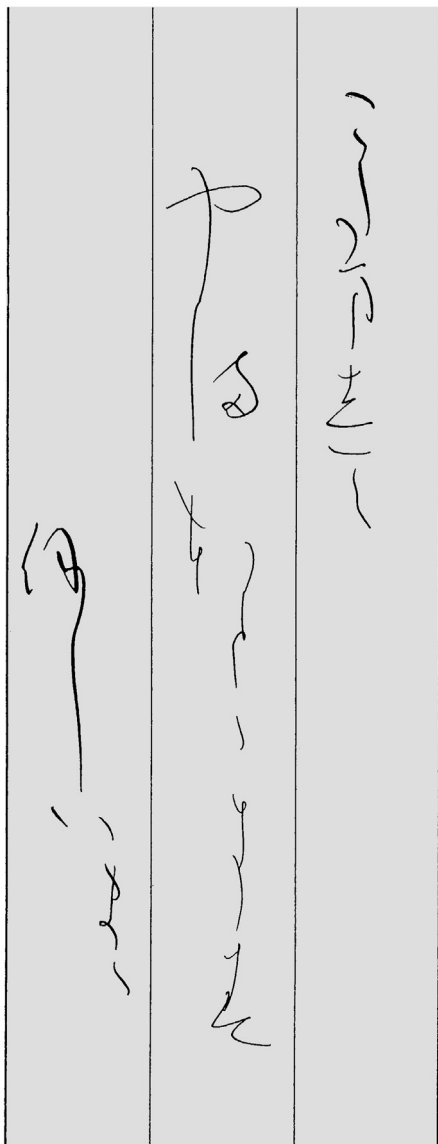
一般部かな課題

締切り 6月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

多^こ万^万志^志天^天や満^満本^本と、支^支春^春保^保
研^研して山^山時^時鳥^鳥ほし^ほいま^{いま}



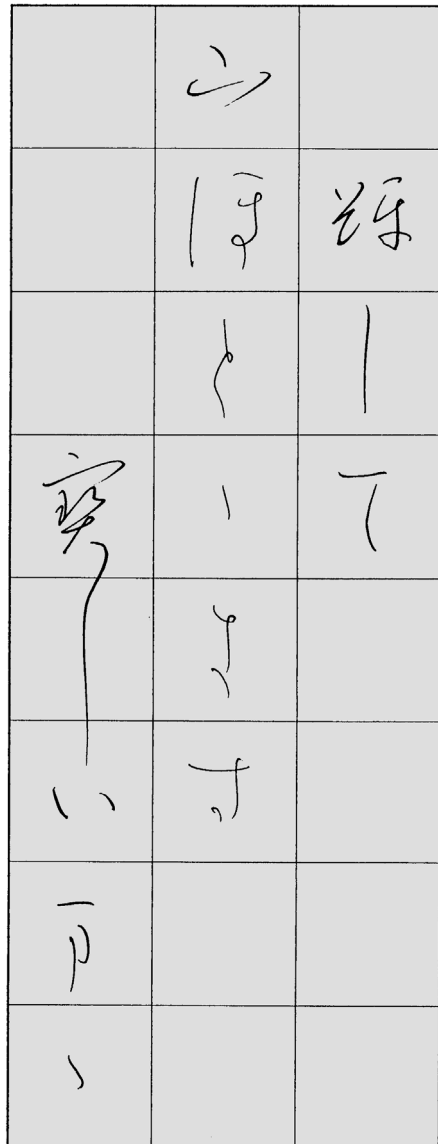
おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

研^研して山^山時^時鳥^鳥ほし^ほいま^{いま}

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

◆7月課題予告

おほぞら^{おほぞら}なが^{なが}の^のと^と
大空に長き能登ありお花畑

阿波野青畝^{あわのせいほ}

保^ほ

保^ほ保^ほ保^ほ保^ほ

寶^ほ

寶^ほ寶^ほ寶^ほ寶^ほ

満^ま

満^ま満^ま満^ま満^ま

志^し

志^し志^し志^し志^し

多^た

多^た多^た多^た多^た

〔古筆参考〕

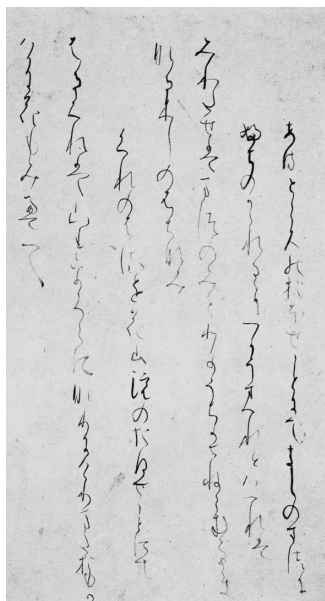
〔句意〕深緑の山々に研しながら、時鳥が、誰はばかりことなく、自分の思いのままに、声張り上げて鳴いていることである。

研^研して山^山時^時鳥^鳥ほし^ほいま^{いま}

（杉田久女^{すぎたひさじよ}）

〔古筆参考〕

針 切



あるところのおほせごとにて、流 能 支 きのまつに
 婦可 盤 万 徒 尔
 ふぢのかゝれるをつかうまつれとはべれば八 盤
 みわたせばまつのみどりにうちかさねこむらさき支
 那木 不 那 なるきしのふちなみ
 者 流 くれのはるを花山院のおほせごとにて
 者 盤 乎 那 利 尔 介 利 万 多 於 可
 介 尔 盈 げに花もみえつゝ

締切り 六月二十四日（必着）

築瀬舟香書

本、支寸に衛万
ほととぎす声待つほどは片岡の
利多遅
もりのしづくに立ちやぬれまし

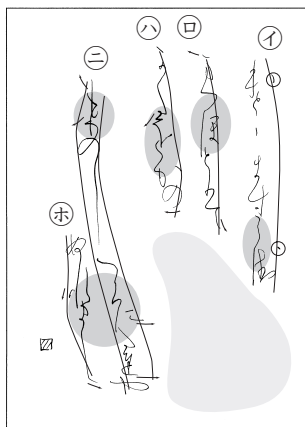
紫式部

〔歌意〕ほととぎすの鳴く声を待つ間、片岡の御社の柱に立ちつくして、木々の雪に濡れましようか。

〔出典〕新古今和歌集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



- イとホ、イとニ、ロとホ、ロとニ
- ①と②それぞれ呼ぶ。
- 墨の動き注意。
- ↙ の方向大切。
- ○ 大きな間を作る。

針切の字形(一)

針切の文字形は縦長の字形が大部分を占めています。これは針切が縦への流れを強調しようとしているからです。

參考資料 同朋出版 針切

◆7月課題予告

重ねてもすずしかりけり夏衣なつころも
薄うすきたもとにやどる月影つきかげ

締切り 6月24日(必着)

和歌山の梅を頂いたので、試しに
蜂蜜入りの梅酒を造ってみました。
半年から一年程で飲み頃ですが、
さらに熟成させると深みが増して
おいしくなるそうです。来年の夏
友達を集めて飲みましょうね。

和歌山の梅を頂いたので、試しに
蜂蜜入りの梅酒を造ってみました。
半年から一年程で飲み頃ですが、
さらに熟成させると深みが増して
おいしくなるそうです。来年の夏
友達を集めて飲みましょうね。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

ペンの語源は、ラテン語の「羽」を
意味するペンナ(penna)である。

鹿児島県奄美市 氏 名

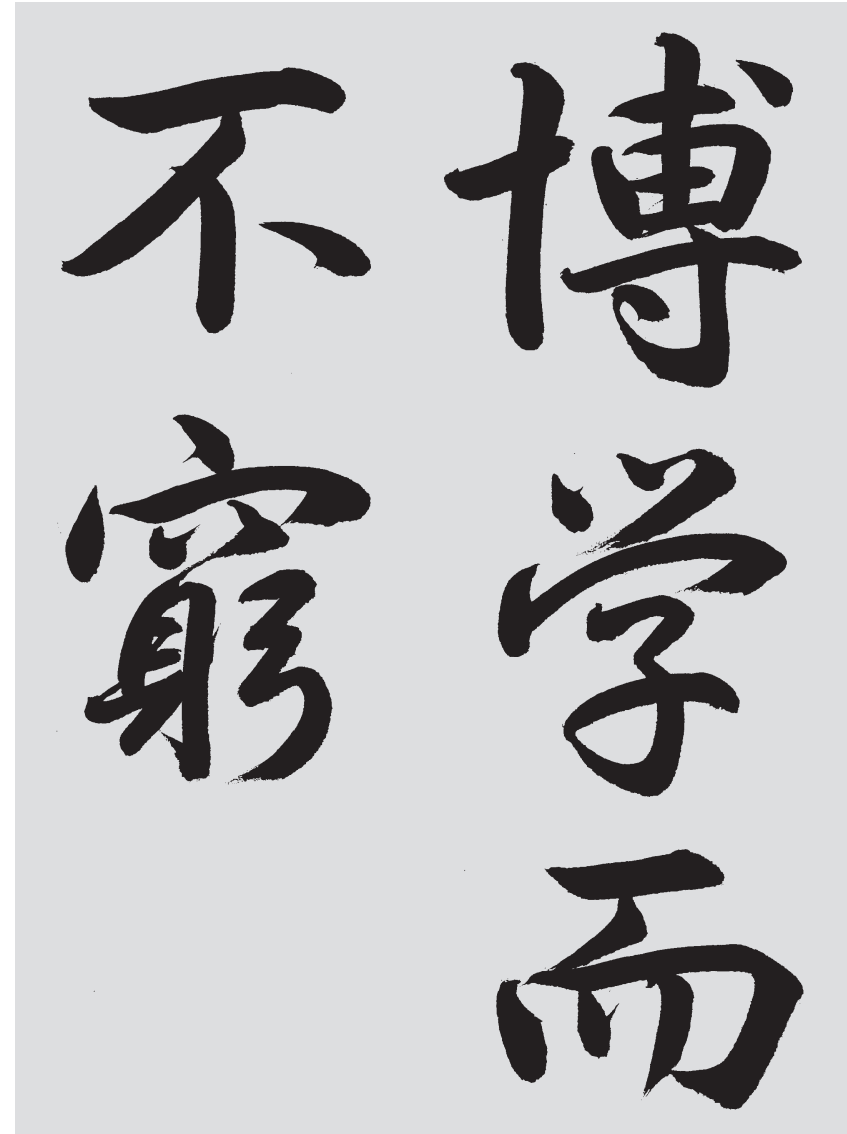
※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 6月24日（必着）

新入から1級まで（行書）

澤 静雨書

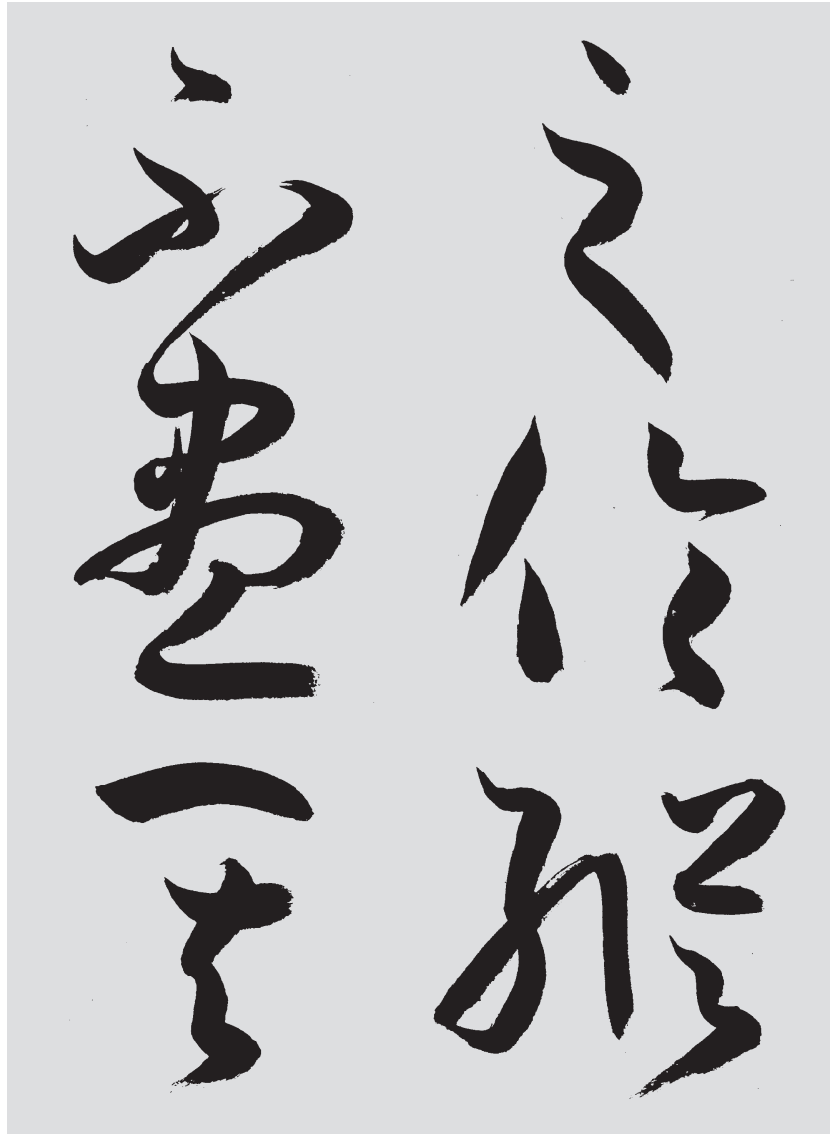


〔読み〕 博く学びて窮まらず。

〔大意〕 学問に広く通じて止まることがない。

準初段から師範まで

奥村 暢之臨



〔出典〕 書譜（687）〔筆者〕 孫過庭（648?～703?）

〔読み〕 （邠）の 倫 に（至りては）、縦い其の（神奇を）尽くさずとも、



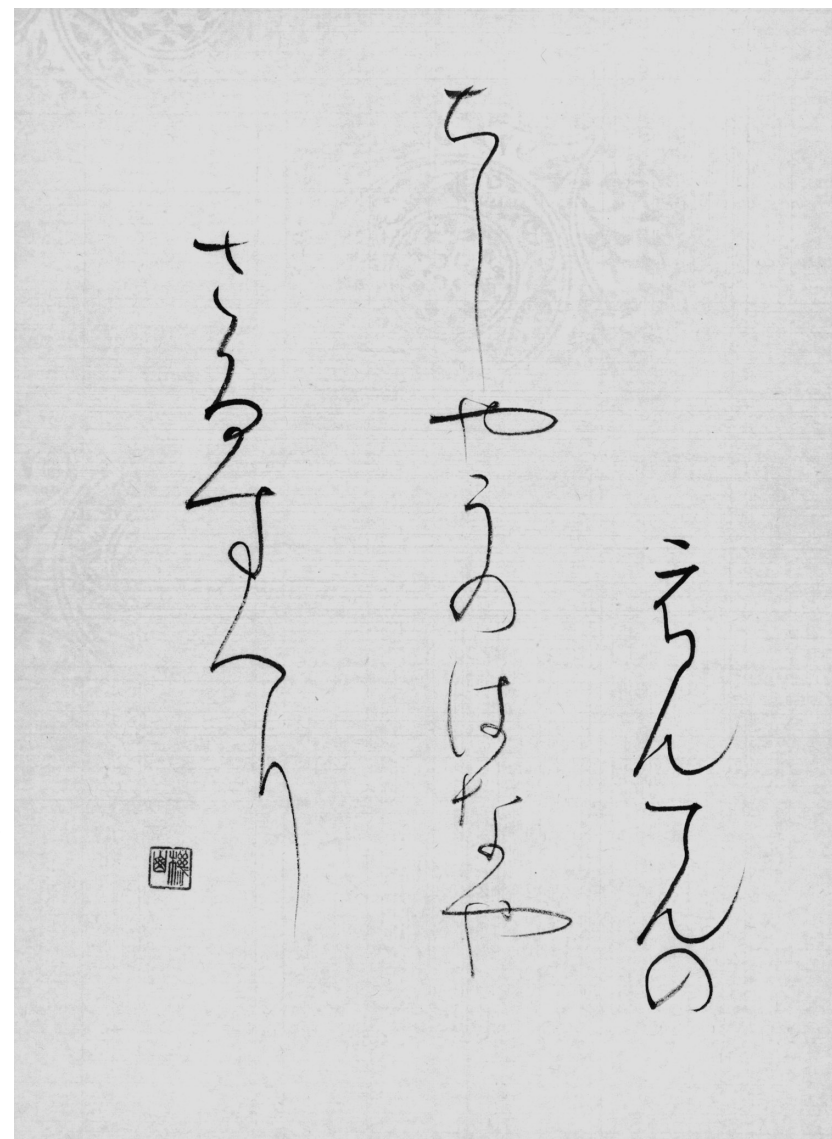
之 倫 縦 不 盡 其

一般部毛筆かな課題

締切り 6月24日（必着）

新入から1級まで

浅井機山先生書

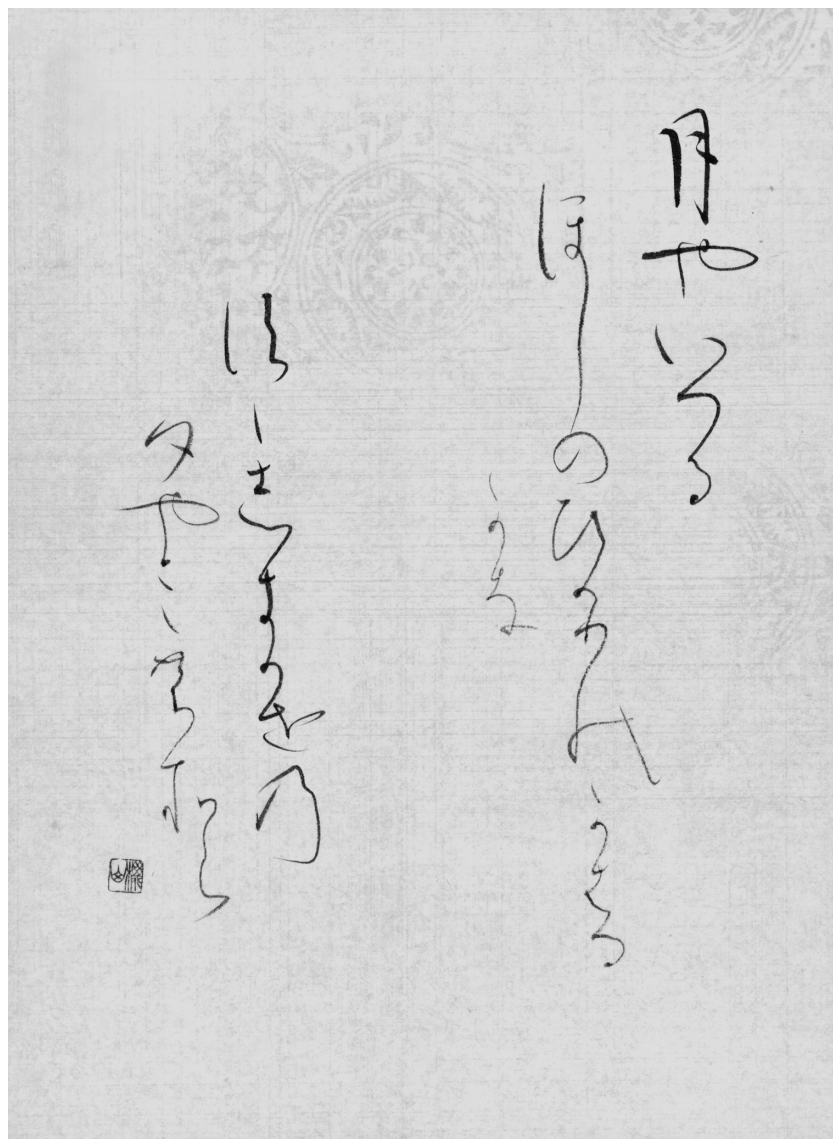


※検定試験1級コースを兼ねる。

準初段から師範まで

炎天下の地上の花や百日紅

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



※検定試験三段コース以上を兼ねる。

月やいたる星の光の変わるかな
涼しき風の夕やみの空

〔出典〕 伏見院

〔歌意〕 月がでたのだろうか、星の光の感じが変ることだ。涼しい風の吹く夕闇の空よ。

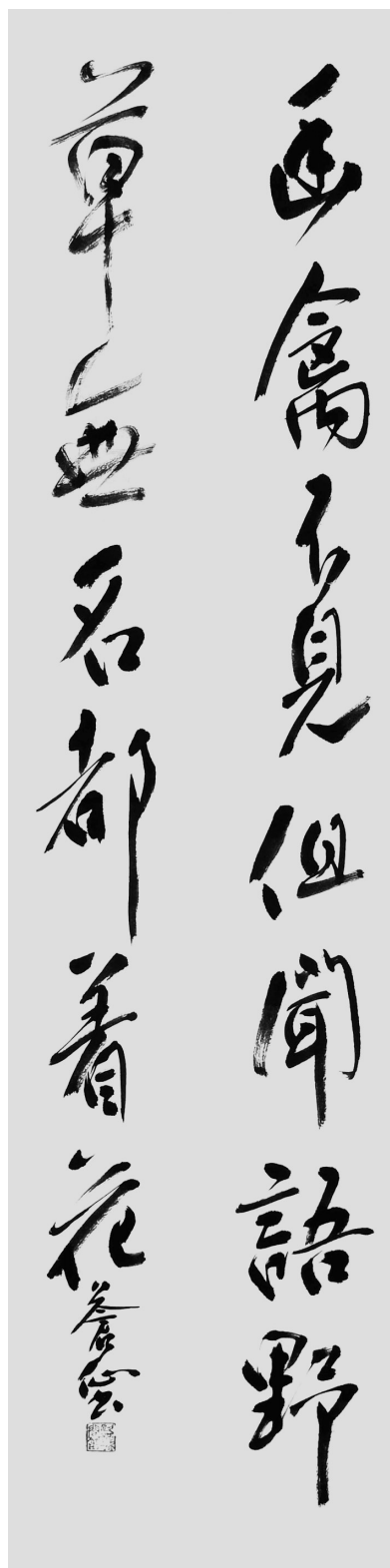
〔出典〕 高浜虚子

〔句意〕 炎天下の大地に、深紅の百日紅が咲いている。まさに夏にふさわしい花だ、というのである。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 六月二十四日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）



荻田蒼仙書

幽禽ゆうきん不みえず見ただ但を聞き語き
野草やそう無なく名すべ都はな著を花つ
〔大意〕もの静かに鳴く鳥は姿を見ずにただごを聞くばかりで名なき野べの小草は残らず春誇りげに花咲いている。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

新居の写真拝見ついに夢を實現

されりたね南国調の壁や家具は

貴方らしいセンスで幸せの風が私の

ところにもぞ吹いて来りた

堀井千賀

樋田玲華書

半紙（334mm×240mm）

※検定試験三段コースを兼ねる。

〔条幅解説〕 今月はスマートに試みました。筆の腹

と穂先をきかし、細太の変化を見て下さい。「聞、草、都」の長い字を入れることにより効果を狙いました。

縦作品であり、単体でも流れを意識しました。

・新居の写真拝見ついに夢を實現

されましたね 南国調の壁や家具は

貴方らしいセンスで幸せの風が私の

ところにまで吹いて来りました

（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

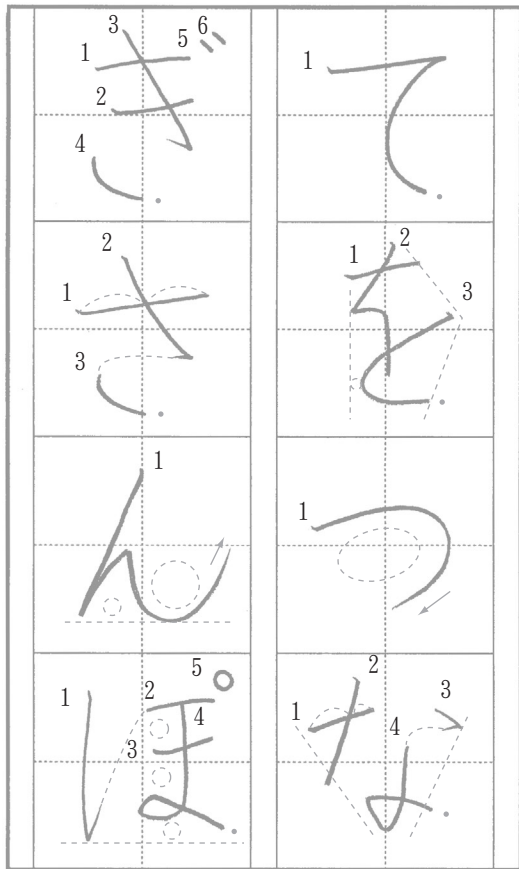
〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績（天位、5等）は、評価により毎月変わります。

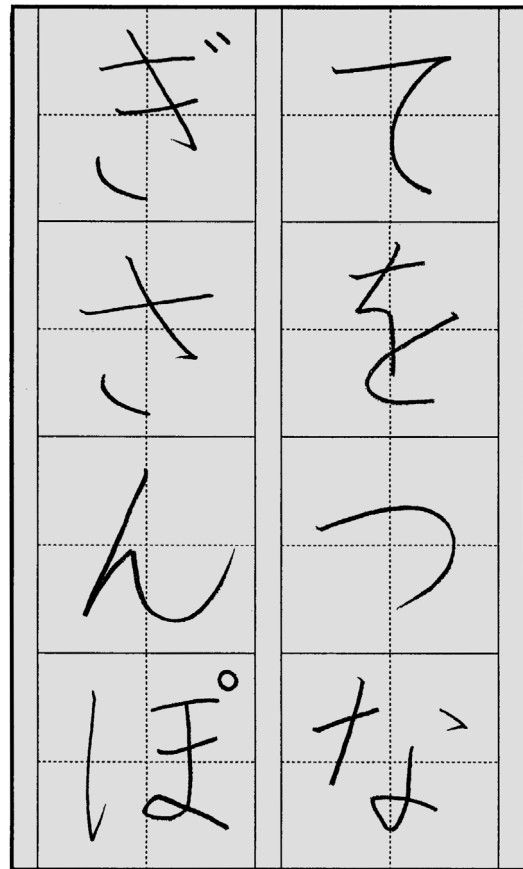
■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)



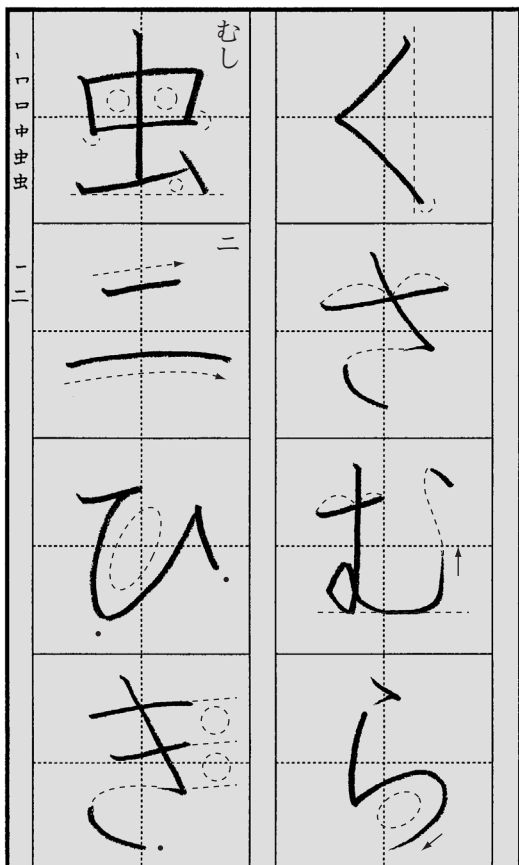
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年～小三年 三宅容玉書



新入～1級

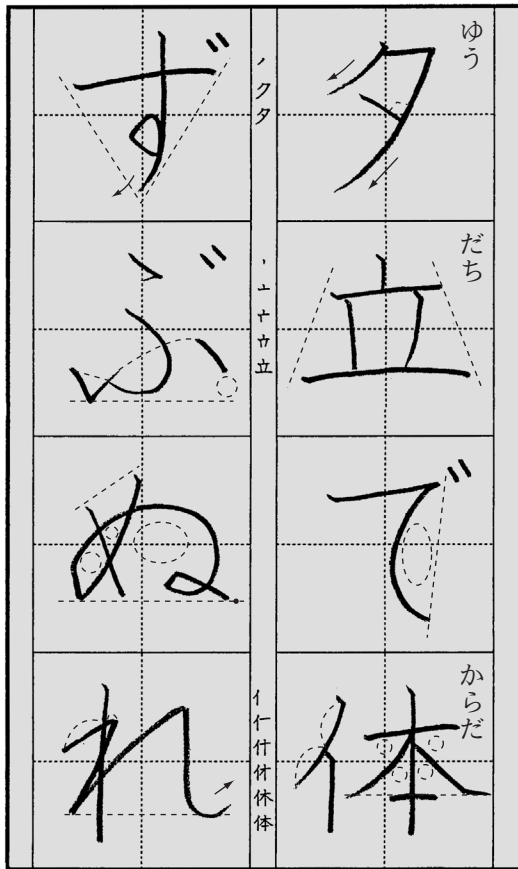
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



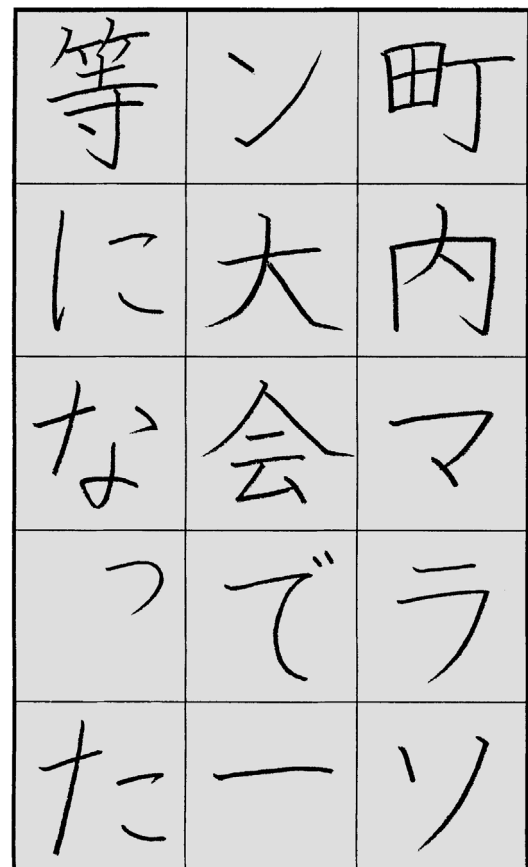
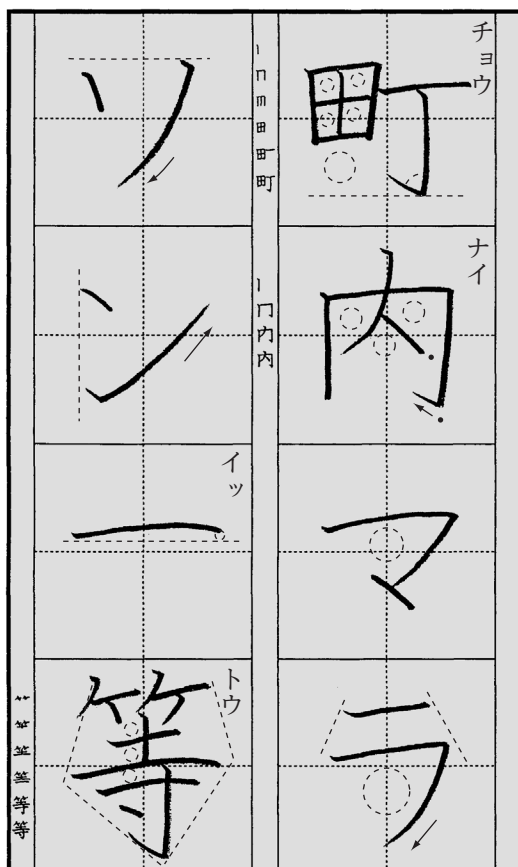
小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



小
二
年

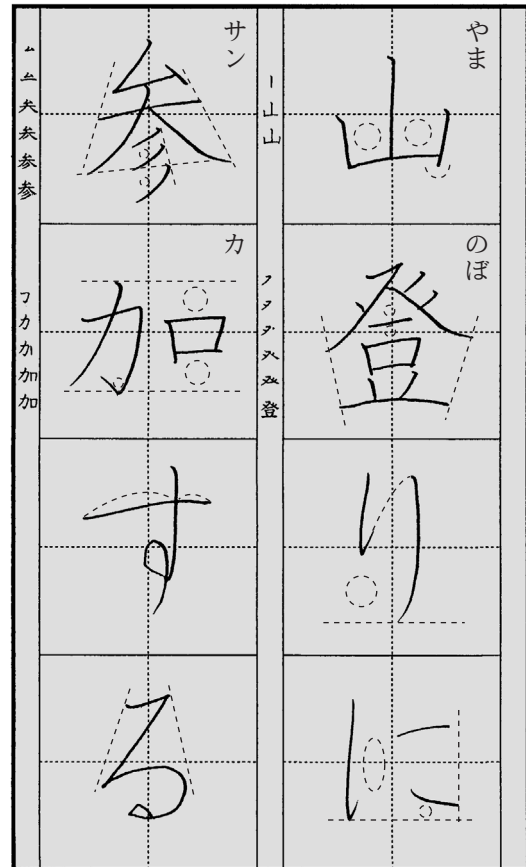


小
三
年

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小
四
年

(全員)



新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

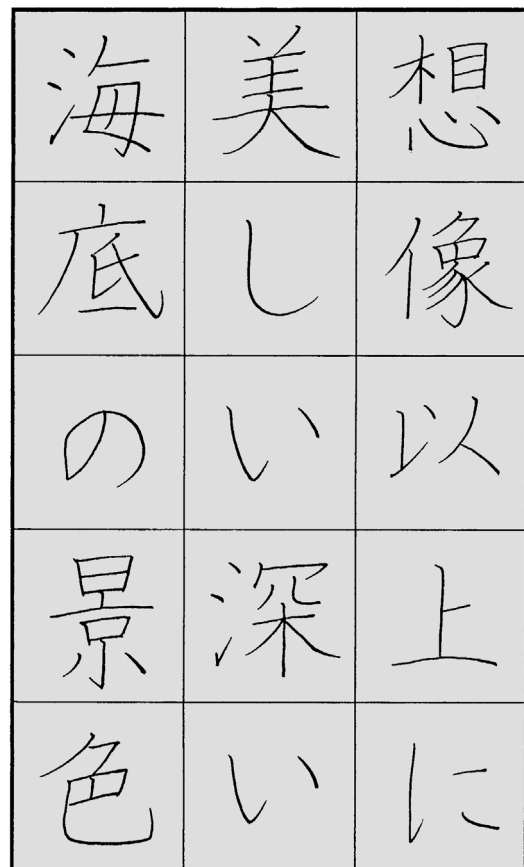
記

- * 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、いじけないよう、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- * 六月締切り分までは、この方法を続けます。
- * ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習をしましょう。
- * 七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

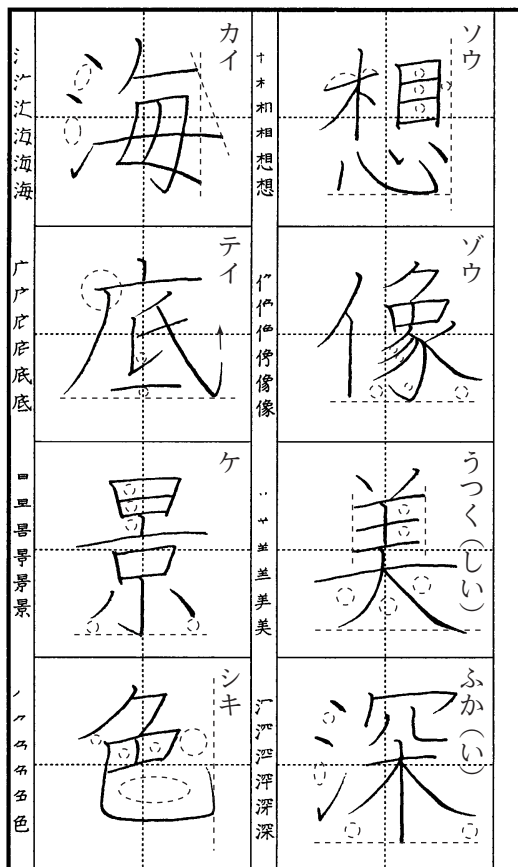
小
五
年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四以上 須田一葉書

〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

牛	小
乳	麦
作	粉
	卵

解説(よく見て習いましょう)

一	と	小
キ	牛	麦
を	乳	粉
作	で	と
る	ケ	卵

小六年

(全員)

◎お手本は、つけペンで書きました。

剣	の	福
に	方	祉
考	策	充
え	を	実
る	真	へ

中二・三年 (楷書)

で	映	注
観	画	目
賞	を	の
し	学	外
た	校	国

中一年 (楷書)

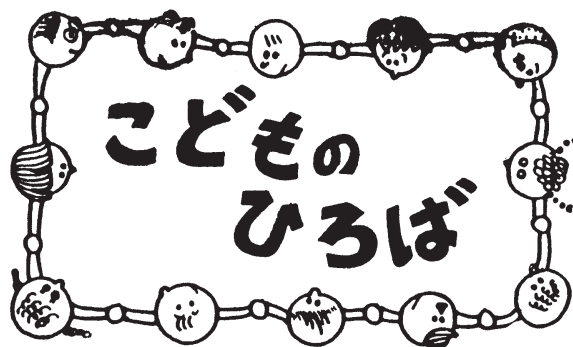
▼小三年以下の課題

ふく しま ゆう こう
福 島 有 光 書

楽 ^{たの}	ド	も	玉 ^{たま}	き
し	キ	う	乗 ^の	り
い	ド	じ	り	ん
サ	キ	ゅ	ピ	や
ー	の	う	エ	ぞ
カ		使 ^{つか}	口	う
ス		い	に	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 6月24日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

い うえ さい よう
井 上 彩 葉 書

練 ^{れん}	父 ^{ちち}	苦 ^{にが}	体 ^{たい}	来 ^{らい}
習 ^{しゅう}	に	手 ^て	育 ^{いく}	週 ^{しゅう}
し	教 ^{おそ}	な	の	か
ま	わり	鉄 ^{てつ}	時 ^じ	ら
す		棒 ^{ぼう}	間 ^{かん}	
		で	は	
		す		

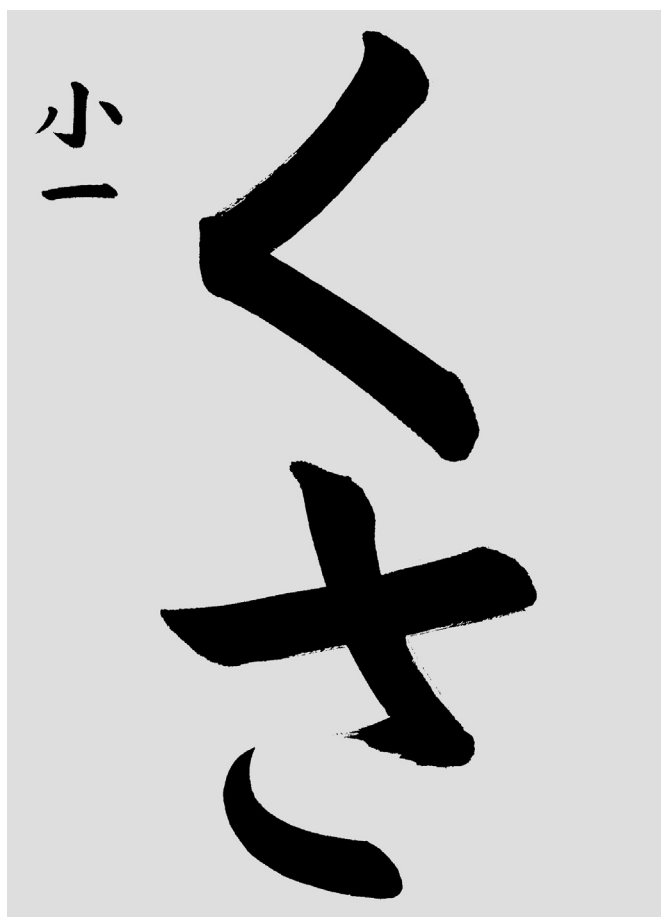
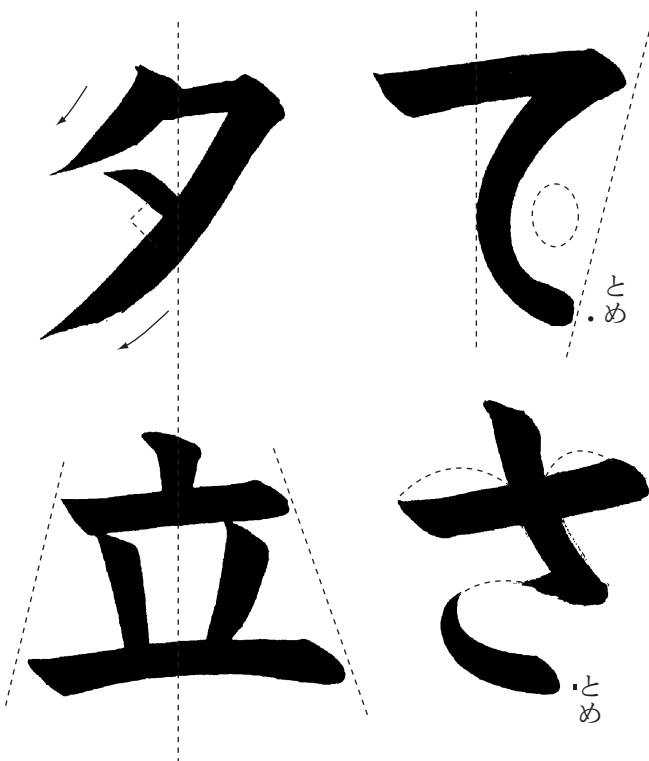


◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年
玉樹小
華書



小三・小五年

水野香竹書

中三
充福
実祉

粉小
小麦

小六・中二・三年
奥村暢之書

画 麦
祉 粉
充 映

中一
映外
画国